

主題：パウロの書簡における真理の重要な項目

メッセージ 10

十字架につけられたキリストを、

召会の中のすべての問題の唯一の解決として享受する

聖書… I コリント 1:23-24, 30, 2:2, 9-10, 10:4, 15:45 後半, I ペテロ 2:24

I. 十字架につけられたキリストは、使徒の務めの唯一の主題、中心、内容、本質でした—— I コリント 2:2 :

A. キリストの死は神の力となり、宇宙のすべての問題を除き去りました。こういうわけで、十字架につけられたキリストは、神の力であり、すべての否定的な事柄を廃棄し、ご自身の計画を遂行します——1:23-24 :

1. 人の方法による問題の解決は、交渉することです。しかし、神の方法は、終結させることです。人と人との間の問題を解決する最上の方法は、関係するすべての人を終結させることです——ガラテヤ 2:20. 参照、I コリント 6:7-8。
2. キリストが十字架につけられたことは、全宇宙を静ませ、宇宙の極めて複雑な状況を単純にしました——参照、II コリント 11:2-3。

B. わたしたちが十字架につけられたキリストを享受する時、わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうことのできるすべては、完全に終結させられます。そして彼の復活の命が、わたしたちを通して他の人たちの中へと分け与えられます——ヨハネ 12:24-26. II コリント 4:10-12。

II. 十字架につけられたキリストをわたしたちの霊の中で、命を与える霊として享受することは、召会の中のすべての問題を解決し、命の成長という結果になり、召会を建造します—— I コリント 1:23, 2:2, 15:45 後半, 6:17, 3:6 :

A. 十字架につけられたキリストは、わたしたちの霊の岩です。彼は神によって打たれ、裂かれて、ご自身を霊の水として流し出し、わたしたちに飲ませました—— I コリント 10:4, ヨハネ 19:34, 出 17:6 :

1. わたしたちは絶えず主を呼び求め、生ける水の泉である彼から喜びをもって水をくむ必要があります—— I コリント 12:13, 3 後半, イザヤ 12:3-4, ヨハネ 4:10, 14。
2. わたしたちはいつも主に対して語り、生ける水である彼を受け入れる必要があります——民 20:8。

B. 十字架につけられたキリストは神の力です。それはわたしたちが、どのような環境の中でも生き、あらゆる種類の美徳を生かし出すためです—— I コリント 1:18, 24, エペソ 1:19-23 :

1. わたしたちは、わたしたちの内側の力であるキリストによって、どのような環境の中でも、満ち足りた生活をすることができます——ピリピ 4:11-13。
2. わたしたちは、わたしたちの内側の力であるキリストによって、あらゆる種類

の美德であるキリストを生かし出すことができます。これらの美德のある生活をするには、クリスチャンとしての働きをすることよりはるかに高くて難しいのです——13, 8節。

3. わたしたちは、祈りの中でキリストと交わることを実行することによって、神の力であるキリストの伝達と、神の平安であるキリストの注入を享受することができます——6-7節。

C. 十字架につけられたキリストは、神の知恵であり、わたしたちに至る義と聖別と贖いとなりました——I コリント 1:30 :

1. キリストは、わたしたちに至る神からの知恵となり、彼であるすべてを、三部分から成るわたしたちの存在の中に伝達し、ご自身の永遠の表現とします。またわたしたちを神の傑作とならせ、キリストであるすべてを見せる知恵の展覧とします——エペソ 2:10. 3:10 :

- a. キリストはわたしたちの義であり(わたしたちの過去のためである)、それによってわたしたちは、神に義とされ、霊の中で再び生まれて、神聖な命を受けました——ローマ 5:18. 8:10。

- b. キリストはわたしたちの聖別であり(わたしたちの現在のためである)、それによってわたしたちは、彼の神聖な命で、魂の中で聖別されつつあります。すなわち、わたしたちの思い、感情、意志の中で造り変えられつつあります——6:19, 22。

- c. キリストはわたしたちの贖い(わたしたちの将来のためである)、すなわち、わたしたちの体の贖いであり、それによってわたしたちの体は、彼の神聖な命で変貌させられ、彼の栄光の様を持ちます——8:23. ピリピ 3:21。

- d. わたしたちがそのような全体的で完全な救いにあずかるのは、神から出たことです。そのような救いは、わたしたちの全存在、すなわち、霊、魂、体を、キリストと有機的に一とならせ、キリストをわたしたちのすべてとならせませす——参照、エペソ 5:25-27。

2. 義、聖別、贖いは、神の救いの三つの段階を指しているだけでなく、わたしたちが日々経験すべき神の救いの性質の三つの面をも指しています。

3. わたしたちが神の人格化された知恵であるキリストを堅く持ち続ける時、彼はわたしたちに対して命の木の実際となります。それは、わたしたちが他の人たちにキリストを命として供給するためです——箴 3:18-19. 歴代下 1:10. コロサイ 2:2-3. 1:28. I テモテ 5:1-2。

D. 十字架につけられたキリストは、わたしたちのいやし主、わたしたちのいやしの木です——出 15:22-26. I ペテロ 2:24. ヨハネ 11:25. 啓 2:7 :

1. わたしたちがキリストの十字架のいやしの木を経験し、十字架につけられた生活をする時、わたしたちの苦い状況は甘くなります。

2. わたしたちはキリストの十字架を、わたしたちの全存在に適用する必要があります。それはわたしたちの内側の苦さがいやされて、甘さへと変えられるためです。

E. 十字架につけられたキリストは、神の深み、神の深い事柄です—— I コリント 2:6-10 :

1. 神の深い事柄は、わたしたちの永遠の分け前として多くの面を持つキリストです。彼は神によってあらかじめ定められ、備えられ、わたしたちに無代価で与えられました——ローマ 11:33. I コリント 15:45 後半. 6:17。
2. 神がわたしたちのために定め備えた深くて隠された事柄を、わたしたちが認識し、それに分を持つためには、彼を愛する必要があります——2:9. マルコ 12:30. 参照、I コリント 16:22 :
 - a. このようにして、わたしたちは神との最も近く、最も親密な交わりを持ちます。そして彼の心の中に入って、彼の心の中のすべての秘密を理解することができます——詩 73:25. 25:14。
 - b. 神との親密な交わりの中で神を愛することを通して、わたしたちの全存在が神と一になる時、彼はわたしたちの霊の中で、彼の霊を通して、わたしたちの分け前であるキリストのすべての秘密を、わたしたちに示してください—— I コリント 2:10-12。

© 2023 *Living Stream Ministry*